

Title	JAIST学術研究成果リポジトリ事例報告：これまでの 取組みと課題
Author(s)	寺田, 美樹
Citation	
Issue Date	2008-02-07
Type	Presentation
Text version	author
URL	http://hdl.handle.net/10119/4040
Rights	
Description	D R F 地域ワークショップ（北陸地区）発表用資料 ，平成20年2月7日開催

JAIST Repository

～JAIST学術研究成果リポジトリ～

これまでの取組みと課題

北陸先端科学技術大学院大学
学術情報サービス室学術管理係 寺田美樹

DRF地域ワークショップ(北陸地区)平成20年2月7日

発表の概要

- ◆ 大学・リポジトリの概要
- ◆ 事例紹介
 - システム構築, 広報活動・初期コンテンツ収集
- ◆ リポジトリ公開後の取組み
- ◆ 今後の予定・課題

北陸先端科学技術大学院大学

Japan Advanced Institute of Science and Technology

- ✦ 研究科：知識，情報，マテリアルサイエンス
- ✦ 学生数：941名
博士前期課程 645名，博士後期課程 296名
- ✦ 教員数（教授・准教授，助教）： 155名

平成19年5月1日現在

JAIST学術研究成果リポジトリの概要

JAIST 学術研究成果 リポジトリ
JAIST Repository

JAIST
JAPAN
ADVANCED INSTITUTE OF
SCIENCE AND TECHNOLOGY
1999

JAIST Repositoryについて | ログイン | ヘルプ

JAIST Repository >

簡易検索

検索

詳細検索

Japanese English

JAIST学術研究成果リポジトリへようこそ！

本学に在籍し、教育、研究に従事した人々によって生み出された成果物を電子的な形態で収集・蓄積・保存し、無料で公開しています。

* 学内限定で公開している論文があります。(学位論文)
学内ユーザはログインすることで、閲覧可能です。詳細は、[ログイン画面](#)をご覧ください。

2007/12/19 ホームページをリニューアルしました。

検索

高頻度ダウンロード文献

JAIST学術研究成果リポジトリ運用指針

リンク

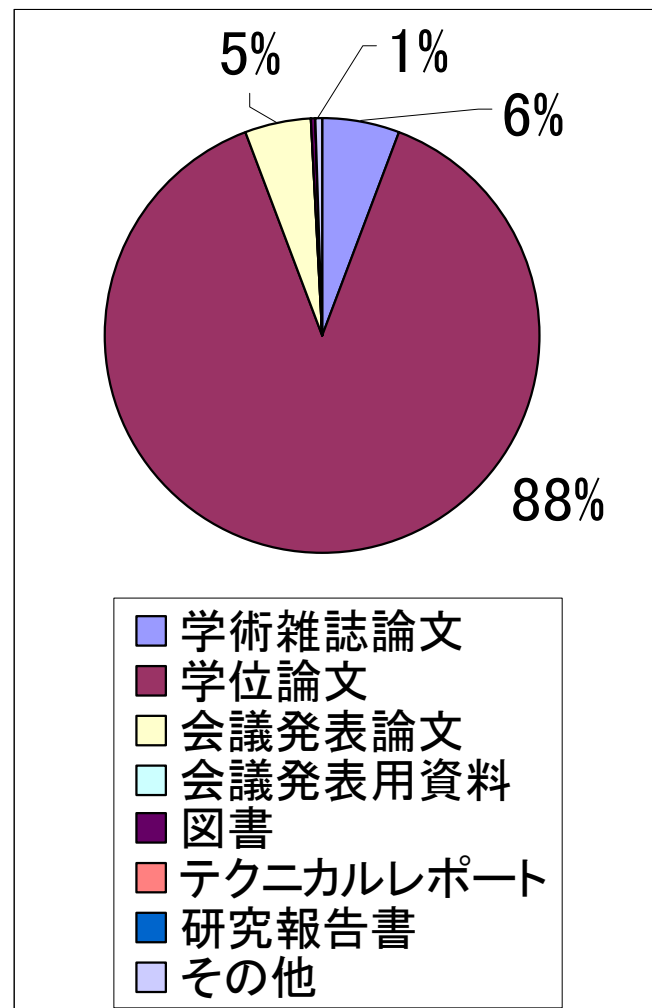
- 北陸先端科学技術大学院大学
- 北陸先端科学技術大学院大学附属図書館
- 研究者総覧
- 国内の機関リポジトリ一覧

平成19年5月30日より運用開始 / **3562**件の登録 (平成20年1月25日現在)
学外公開の本文データは1405件

<https://dspace.jaist.ac.jp/>

資料別登録数

資料タイプ	件数
学術雑誌論文	208
学位論文	3150
会議発表論文	175
会議発表用資料	4
図書	2
テクニカルレポート	0
研究報告書	1
その他	22
合計	3562



(平成20年1月25日現在)

システム構成

◆ ソフトウェア

Dspace 1.3.2

◆ サーバ

Fujitsu PRIMEPOWER250

OS:Solaris10

RAID1,本体にバックアップ装置はなし

データはNFSで**ファイルサーバ**に蓄積

◆ 導入業者

株式会社アグレックス

カスタマイズ

- ・発信メール, ヘルプ画面の修正(英語版含む)対応

★LDAPユーザ認証対応

- ・学内専用公開対応
- ・著者(共著者も含む)へのダウンロード数通知メール発信
- ・高頻度ダウンロード文献ページ作成
- ・メタデータの項目追加, 入力画面反映

★NFS対応(ファイルサーバにデータを保存)

- ・博士/修士論文の入出力対応
(専用入力画面作成, 目次ページ(検索機能付き)作成)
- ・教育研究総合DBからのインポート機能
(インポート(重複チェック含む), 仮登録制御(表示, 変更等)機能)
- ・データ一括登録ツール作成
- ・ブラウザ画面の日本語/英語切り替えボタン追加
- ・アクセスログ解析ソフトAWstats(フリーソフト)のインストール・設定
- ・コレクション移動機能追加
- ・投稿者ID付替え機能追加(一括登録後に利用)
- ・トップページ等の画像変更, 中央・右ニュースの日本語・英語別表示対応

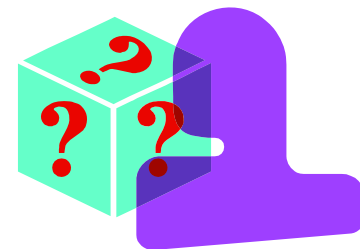
事例紹介 システム構築

LDAPユーザ認証でユーザ登録作業なし

学位論文の提出
1回だけなのに
ユーザ登録するの？

システムごとにパスワードを
いくつも管理するのは面倒

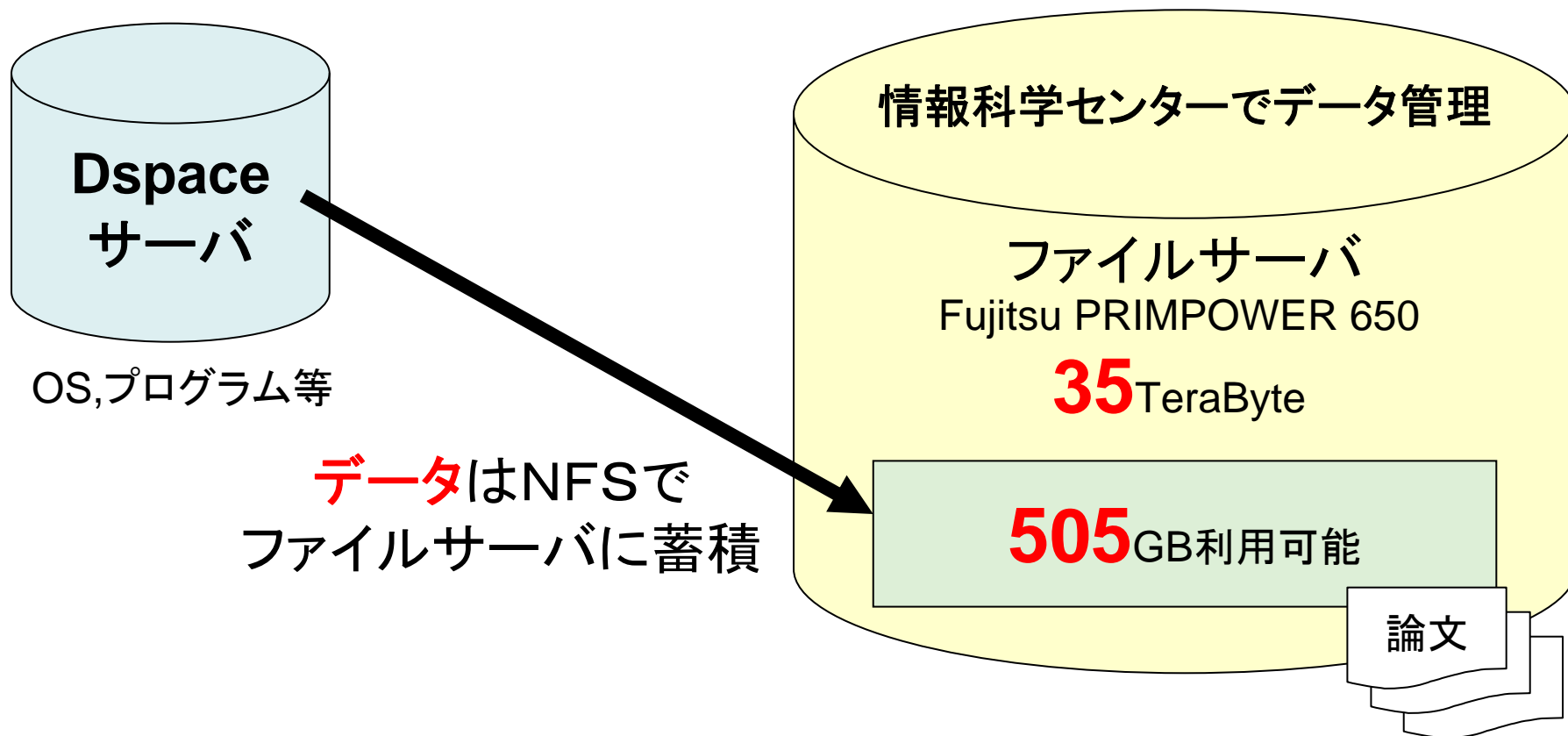
学内限定公開の
コンテンツへのアクセスは
どのユーザに権限を付与？



<解決！>

- 新規ユーザの登録作業なし
- 学内メール, 他システムと同じユーザ名, パスワードでログイン
- LDAPユーザに学内コンテンツの閲覧権限を付与

データはファイルサーバに保存



データを安全に保存。データ増加への対応が容易。

事例紹介

広報活動・初期コンテンツの収集

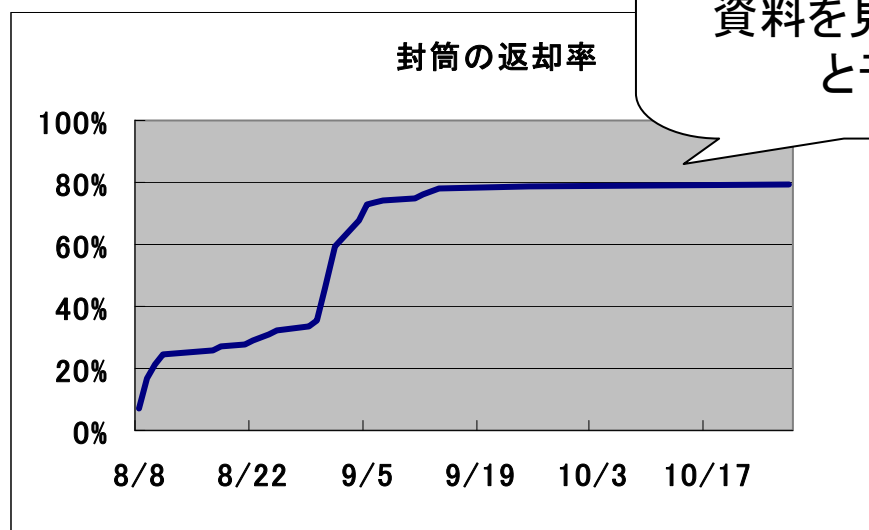
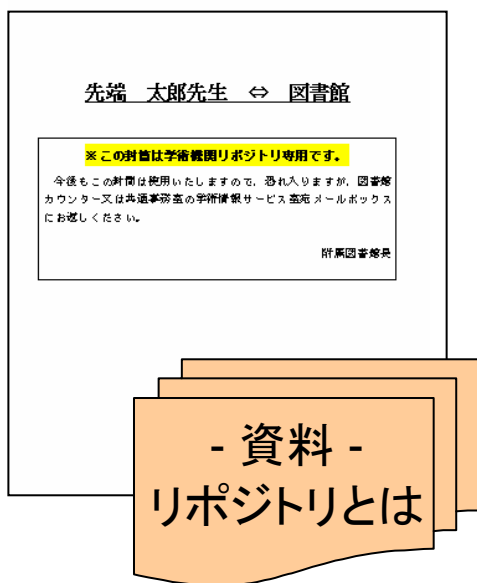
封筒で全教員に資料を配布

封筒に資料を入れて配布，封筒のみ返却してもらった。

⇒ 先生が資料を見たかどうか予想できる。

メールより有効な方法だった(かも)。

資料を同封した封筒



約**80%**の先生は資料を見てくれたと予想

この結果を見て、登録希望の調査も同じ方法で行った。

調査を行った結果

- ◎ 教員への広報
- ◎ 調査票1(教員別論文一覧)
 - 短期間で効率よく初期コンテンツを収集。
- △ 調査票2(なんでも記入)
 - あまり登録にはつながらなかった。

人員・手間

著作権調査

著者版原稿なし

なんでもください
より
この論文をください



リポジトリ公開後の取組み

リポジトリ公開後の仕事

ハーベスティング
設定

資料タイプ毎の
メタデータ入力項目決定

システムカスタマイズ
仕様決定

学位論文登録受付準備
(マニュアル作成, コレクション設定等)

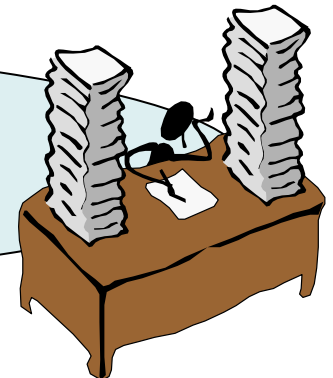
コンテンツ収集方法
の検討

日常業務

調査票の
著作権調査, 先生への回答

コンテンツ管理
コンテンツ収集, 著作権確認, メタデータ登録

優先度, 作業状態の管理が大変！！



コンテンツ管理

- ✦ メタデータ登録項目一覧表
- ✦ リポジトリ登録作業メモ
- ✦ 一括登録用データ作成マクロ(作成中)
- ✦ Microsoft Outlook「仕事リスト」で業務管理
優先度, 分類, アラーム機能あり

赤字 必須、青文字 あれば必須、○ 設定項目、● 自動設定項目

No	項目	Display	JIN2	学位論文	雑誌論文	図書	リサーチレポート	Proc.	内容
1	タイトル	title	title	○ 日本語 (or 英語)	○ 論文名	○ 標題	○ 論文名	○ 論文名	データ移行(学位論文): 論文名(日本語)の入力がない場合は、論文名(英語)をtitleとする。
2	その他(別言語等)のタイトル	title.alternative	alternative	○ 利用しない	○	○	○	○	別言語のタイトルやタイトルのヨミ
3	英語タイトル (学位論文の場合)	description.thesis.title	-	○	○	○	○	○	データ移行(学位論文): 論文名(英語)を入力する。
4	著者	contributor.author	creator	○ 漢字 (or 英語)	○	○	○	○	データ移行(学位論文): 著者(漢字)の入力がない場合は、 著者(英語)を作成者とする。
5	著者(別言語等)	contributor.alternative	-	○ ひらがな	○	○	○	○	
6	著者(英語)	description.thesis.author	-	○ 英語	○	○	○	○	データ移行(学位論文): 著者(英語)を入力する。
7	編集者	contributor.editor	-	○	○	○	○	○	
8	著者キーワード	subject	subject	○	○	○	○	○	日本語、英語のキーワード
9	内容記述1	description	description	○ 指導教員名	○	○	○ 課題	○ 会議名	
10	内容記述2	description	description	○ 研究科	○	○	○	○ セッション名 など	学位論文の、履と年度、論文/課程 の種別等、会議発表論文の会議 名、開催地、日時等、その他コンテ ンツの内容を示すことを記述。
11	内容記述3	description	description	○ 博士 or 修士	○	○	○	○	
12	抄録	description.abstract	description	○	○	○	○	○	
13	公開者	publisher	publisher	○	○	○	○	○	
14	登録年月日	date.accessioned	-	●	●	●	●	●	
15	利用可能年月日	date.available	-	●	●	●	●	●	
16	資料タイプ	type	type	○	○	○	○	○	コンテンツの種別(自由記述)
17	国立情報学研究所メタデー タ主題語集(資料タイプ)	type.nii	NIItype	○ Thesis or Dissertation	○ Journal Article	○ Book	○ Research Paper	○ Conference Paper	学位論文: Thesis or Dissertation 学術雑誌: Journal Article その他: Others など
18	フォーマット	format.mimetype	format	●	●	●	●	●	
19	ファイルサイズ	format.extent	-	●	●	●	●	●	
20	資料識別URI	identifier.uri	URI	●	●	●	●	●	ハンドル番号
21	ISSN	identifier.niissn	issn	○	○	○	○	○	
22	ISBN	identifier.isbn	identifier	○	○	○	○	○	
23	雑誌名	identifier.jtitle	jtitle	○	○	○	○	○	
24	巻	identifier.volume	volume	○	○	○	○	○	
25	号	identifier.issue	issue	○	○	○	○	○	
26	開始ページ	identifier.spage	spage	○	○	○	○	○	論文の開始ページ
27	終了ページ	identifier.epage	epage	○	○	○	○	○	論文の終了ページ
28	刊行年月	date.issued	dateofissued	○ 発行年月	○	○	○	○	
29	言語iso	language.iso	language	○	○	○	○	○	コンテンツ本文の言語 EN, JP
30	言語iso639-2	language.iso639-2	-	○	○	○	○	○	ENG, JPN
31	DOI	relation.doi	doi	○	○	○	○	○	
32	シリーズ情報等	relation.ispartofseries	relation	○	○	○	○	○	

設定は 無視!
以外: システム的な特別対応なし
(コレクションの設定に依存)

33	著作権関連情報	rights	
34	著作権関連URL	rights.uri	
35	著者版フラグ	rights.textversion	
以下は内部管理項目 (ホームページに載せない)			
36	研究総合 CSVデータ	description.csvdc	
37	教育識別コード	description.lyout	
38	備考	description.camm	
39	備考2	description.camm	
40	却下理由	description.rejec	
41	著作権情報1	description.publi: y	
42	著作権情報2	description.palics	
43	公開フラグ	description.acce.	
44	本文ファイルフラグ	description.fulltext	○ paper.pdfが ない場合1
45	原稿の種類	description.typeofpaper	○

メタデータ登録項目一覧表(A4)

(論文情報)			
フォルダ№		氏名	
論文No		所属	
教員メール		教官識別コード	
論題			
雑誌名			
著者名			
巻		刊行年月日	
号		ISSN	
頁		DOI	
備考			
コメント			

(作業管理)	
処理ステータス	
原稿の提出状況	手持ち原稿
著作権の帰属	
確認先	
著作権ポリシー	

- 重複チェック(既にリポジトリにデータが登録されていないかどうか)
- 出版社への確認メール
- 出版社が許可する原稿が提出されているかチェック (Xの場合 → 先生に原稿依頼)

(状況メモ) 依頼日付, 状況を記入

- スキャン(300dpi)、PDF作成 (※1)
- メタデータの作成 ※right, description, accessflag, language, iso639-2, description, kyokancodeも登録
- リポジトリに登録 (ハンドル: 10119/)
- 投稿者ID変更、著者ID登録
- 先生へ登録状況の連絡
- 処理のステータス等(台帳)更新

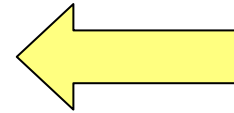
(※1 出版社版OKで原稿を図書館で探す場合)

- OJ あり
 - ダウンロードし、教員フォルダにPDFを保存
 - Abstractをコピーし、テキスト保存

- OJ なし
 - 巻, 号, ページ, 刊行年月日を記入
 - OPACをチェック (部署: _____, 資料ID: _____)
 - 本を探す

所蔵あり ・ 所蔵なし

リポジトリ登録作業メモ(A4)



自動設定
(黄色部分)

登録台帳
(Excel)

論文公開までの
作業状態を管理

今後の予定と課題

まずは、論文受付～公開作業までを確実に！

それから、

- WOSの利用 コンテンツ収集
- リポジトリ紹介ページの充実 など 広報
- 著作権ポリシー情報のDB化 情報管理
- 教員DBデータの利用 自主的な論文提供
(運用はまだ先？)
- アクセス状況の解析 Webページの改善

ご清聴ありがとうございました。